

博物館でお花見を

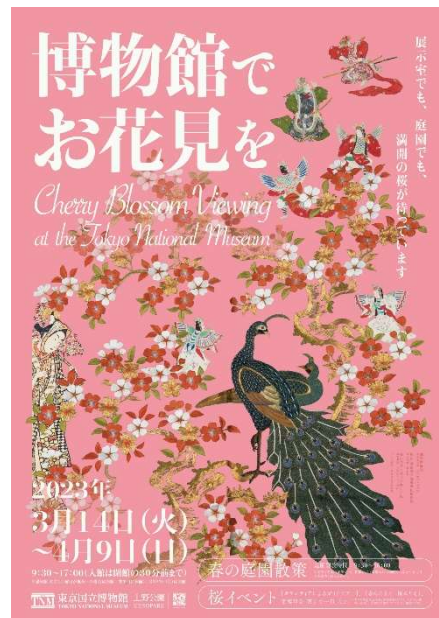
2023年3月14日(火)～4月9日(日)

ト一ハクならではの、特別なお花見

東京国立博物館は、今年も「博物館でお花見を」と題した春の恒例企画を実施します。

本館の各展示室では、絵画、陶磁器、きものなど、桜をモチーフにした日本美術の優品をお楽しみいただき、本館北側に広がる庭園では、さまざまな種類の本物の桜を堪能いただけます。当館ならではの、特別なお花見をお楽しみください。

※昨年まで実施を見合わせていたガイドツアー等のイベントを、一部再開します。



10. 「博物館でお花見を」メインビジュアル

本館 桜めぐり

本館の各展示室では、「新吉原櫻之景色」など花見の風景を描いた浮世絵や、うららかな春の風景を描いた「舞楽図屏風」などの絵画、また桜をモチーフにした陶磁器や染織をはじめ、さまざまな工芸作品を展示します。

該当作品のキャプションには桜マークが付いていますので、それを探しながら展示室内の桜をご堪能ください。

【主な展示作品】 ※作品はすべて東京国立博物館蔵



1. 新吉原櫻之景色 歌川豊国筆 江戸時代・19世紀 3月7日(火)～4月9日(日)、本館10室にて展示

吉原では、大門からのびるメインストリート仲の町に、3月3日にあわせて咲くように桜が毎年植え込まれました。花が雲のように広がる大きな樹の下には山吹を添え、青竹の垣根をめぐらし、花魁たちはそこで妍を競いました。



(右隻)

2. 舞楽図屏風

狩野永岳筆 江戸時代・19世紀 2月21日(火)～4月9日(日) 本館7室にて展示
 京都御所の障壁画制作も行った狩野永岳による作品。右隻には春景を背景にした華やかな舞を描き出しています。



3. 小袖 白緋子地花車模様

江戸時代・18世紀
 3月7日(火)～4月23日(日) 本館10室にて展示
 紺と紅の鹿の子絞りと刺繍で、桜・菊・牡丹など四季の花々による花車を表した、元禄期の女性の衣装です。



4. 桜松蒔絵書棚

江戸時代・18世紀
 2月14日(火)～5月7日(日)
 本館8室にて展示
 薄肉高蒔絵を主体にして、切金を置き、桜花は金金貝で表すなど、大変豪華な表現です。



5. 色絵枝垂桜図皿

鍋島 江戸時代・18世紀 米田實氏・千恵子氏寄贈
 1月17日(火)～4月16日(日)
 本館13室にて展示
 枝垂桜を描いた鍋島焼のお皿です。幹と、垂れ下がる枝を染付で、そこに咲くたくさんの桜の花と蕾を赤い上絵具で表しています。



6. 袷紗 萌黄縹子地桜樹孔雀模様

江戸時代・19世紀

3月7日(火)～4月23日(日) 本館10室にて展示

満開の桜の樹のもとに、百鳥の王と称される孔雀を刺繍で表しています。2羽の孔雀は夫婦を表し、結婚の祝いに贈呈されたものかもしれません。



7. 色絵桜川文徳利

伊万里 江戸時代・17世紀

広田松繁氏寄贈

1月17日(火)～4月16日(日)

本館13室にて展示

茶人に特に人気の高い瓢形の徳利で、川を流れる桜の花びらを意匠化しています。

8. 桜下馬乗り若衆

奥村政信筆 江戸時代・18世紀

3月7日(火)～4月9日(日) 本館10室にて展示

桜の下で馬に乗る若衆と、物見窓から若衆をちらちらと見やる女性たちを描いた作品。奥村政信は初期浮世絵を代表する絵師です。



桜イベント *すべて事前申込不要、参加無料(ただし、当日の入館料が必要)

◆ボランティアによるガイドツアー

ボランティアによる「樹木ツアー」「たてももの散歩ツアー」「英語ガイド」は、「博物館でお花見を」の期間中、桜のトピックを加えた特別版になります。「樹木ツアー」は構内の桜や桜にまつわるエピソードを、「たてももの散歩ツアー」は構内のたてももの紹介に加えて、付近の桜についてもお話します。「英語ガイド」は、たてもものや展示室についてのお話を中心に、お花見期間中は構内の桜についても触れる予定です。ガイドツアーの日時等、詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。

*天候等により、内容は変更になることがあります。

◆「春らんまん 桜ぬりえ」

桜を表した当館所蔵作品のオリジナルぬりえをお楽しみいただけます。展示室にある作品の色づかいにも注目してみてください。

日時:3月24日(金)、25日(土) 11:00～15:00(受付終了14:30)、3月26日(日) 10:00～16:30(受付終了16:00)

会場:本館19室 *会場にて随時受付。1名につき1枚配布。なくなり次第終了

◆東博句会「花見で一句」

「博物館でお花見を」の期間中、桜をテーマにした俳句を募集します。桜咲く庭園や、桜をモチーフにした作品をテーマに、一句詠んでみませんか? 応募方法等、詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。

庭園散策について

庭園には、ソメイヨシノをはじめ、オオシマザクラ、枝垂れのエドヒガンザクラなど、約 10 種類もの桜が次々と開花します。池の前にある腰掛石に座って、ゆったりと景色を楽しむお客様もいらっしゃいます。散策のベストシーズンであるこの季節、展示室で見る桜の作品とあわせて、庭園で咲く桜もお楽しみください。

開放時間:9:30～16:00

※天候や整備作業等により、閉鎖もしくは散策エリアを制限する場合があります。

※茶室内には入れません。



9. 庭園風景

「博物館でお花見を」 来館案内

会期: 2023年3月14日(火)～4月9日(日)

会場: 東京国立博物館

開館時間: 9時30分～17時 ※入館は閉館の30分前まで

休館日: 月曜日 ※ただし、3月27日(月)は開館

観覧料: 一般1,000円、大学生500円

※高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料。入館の際に年齢のわかるものをご提示ください。

※障がい者とその介護者1名は無料。入館の際に障がい者手帳等をご提示ください。

※有料イベント等は別途料金が必要です。

交通: JR上野駅公園口、鶯谷駅南口から徒歩10分 東京メトロ上野駅・根津駅、京成電鉄京成上野駅から徒歩15分

お問合せ: 050-5541-8600(ハローダイヤル)

ウェブサイト: <https://www.tnm.jp/>

※会期・開館日・開館時間・展示作品・展示期間、開催内容等については、今後の諸事情により変更する場合があります。詳しくは、当館ウェブサイト等でご確認ください。

本リリースの内容、またはご取材に関するお問合せ

東京国立博物館 広報室(担当:小島)

TEL: 03-3822-1111(代) FAX: 03-3822-2081 E-mail: pr_tnm@nich.go.jp

※在宅勤務の場合もございますので、E-mailにてご連絡いただけますと幸いです。